

ワカマツ マサシ  
若松 正志  
文化学部・教授  
文学修士／東北大学

#### 主な研究業績

- 「豊臣政権と奥羽の領主—中小領主の動向を中心に—」(『歴史』第76号、1991)
- 「長崎俵物をめぐる食文化の歴史的展開」(『京都産業大学日本文化研究所紀要』創刊号、1996)
- 「近世中期における貿易都市長崎の特質」(『日本史研究』第415号、1997)
- 「貿易都市長崎における塵芥処理と浚」(丸山雍成編『日本近世の地域社会論』文献出版、1998)
- 「京都の経済・産業の歴史的展開について」(『京都産業大学日本文化研究所紀要』6、2001)
- 『歴史教科書の可能性』(共著書(分担執筆)青木書店、2002)
- 『仙台市史 通史編5 近世3』(共著書(分担執筆)仙台市、2004)
- 『近世京都における朝廷と大社の交流に関する研究』(共著書(分担執筆)所 功、2006)
- 「典仁親王」(『歴史読本』第819号、2007)
- 「イエズス教会領から「長崎口」へ」(荒野泰典他編『地球的世界の成立』<日本の対外関係5>吉川弘文館、2013)

#### ホームページURL

<http://www.cc.kyoto-su.ac.jp/~wakamatu>

#### 研究テーマ

# 日本近世社会の研究 —現代との関係も視野に入れながら—

#### 概要

江戸時代の長崎や京都を中心に、日本の近世社会について研究しています。長崎は、江戸時代の対外関係・貿易・文化交流の要(かなめ)であり、幕府の政策、「鎖国」、貿易の変遷、長崎奉行、都市構造、町人の活動・生活、さらには貿易と国内経済・産業との関わりについて、研究を進めてきました。京都については、朝廷・社寺、産業、観光などについて研究を進めています。

また、大学の授業では、日本の地域性や現代の問題、食文化、サブカルチャー(キャラクター、「萌え本」など)など、広く日本文化・日本社会全般について扱っています。

さらに、2008年10月から2014年3月までは、大学の教学センター長およびキャリア教育研究開発センター長を兼務し、これらに関することからについても取り組んできました。

#### 応用分野

歴史を軸にした諸活動。たとえば、次のようなものが考えられます。  
観光(歴史+α)  
生涯教育(歴史研究・地域史研究・古文書解読)

#### 共同研究へのニーズ

歴史上の人物のイメージ形成に関する問題(影響の大きな媒体、キャラクター化など)について、共同研究を行ってみたいと考えています。